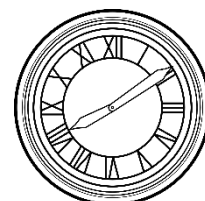


体感時間から

年末が近づいてきました。街の装飾や聞こえてくる音楽がクリスマスや正月を意識したものに変わり、もう1年が過ぎたのか。。。と感じます。よく年を取るほどに時間が経つのがはやく感じられると言われますが、自分も毎年のようにそれを体感しています。

大人になると子供の頃より時間が短く感じるそうです。「ジャンネーの法則」というものがあるそうで、10年生きてきた人にとっての1年と、70年生きてきた人にとっての1年では、同じ1年でも感じ方が全く違うそうです。



これを自分の生活に置き換えて考えてみると、子供（生徒）が退屈な授業と感じて何度も時計を見る場合、時間がなかなか過ぎないと感じるように、時間の経過に注意するほど、同じ時間でも長く感じられるそうです。これが子供と大人の違いに関係しているらしく、子供には待ち遠しい行事が多いのに対して、大人になると慣れ親しんだ刺激の少ない出来事ばかりのため、時間の経過に注意する回数が減り、その分、時間が短く感じられるとのこと。自分には両方の立場で思い当たる節があり、痛いところです。授業や生活に工夫が必要ですね。

時間に対して、皆さんはどうでしょう？自分の時間を有効に使っていますか？有意義or退屈？同じ時間を使うのであれば、ドキドキわくわくしたり、新たな発見につながったりするようになりたいものです。

いよいよ1年のまとめに入ります。この1年を振り返りながら新しい年に向けて目標をたてましょう。新しいことに挑戦し続ける人は、常に新しい刺激を受け、本当の意味で「長い」人生を送ることができるのかもしれないね。与えられた「時間」を大切にしたいものです。

教頭 柿澤 祐介

卒業記念献血 ～社会への貢献～

12月13日（火）に、3年生が卒業記念献血を行いました。これは12月7日（水）に、富山県赤十字血液センターの職員さんに来ていただいて開催した「献血セミナー」を生徒が受講し、献血への理解を深めた上で、希望者を募り、実施しました。

献血する前から緊張したり不安を感じたりしている生徒もいましたが、終わったあとは、「人のために貢献することができてよかった。」と、どの生徒もさわやかな表情を見せていました。

献血セミナーの受講と献血の体験を通して、献血の重要性や社会のために貢献することの大切さを学びました。



【勇気を出して献血に臨む生徒】

武道大会 ～武道の神髄に触れる～

11月28日(月)に武道大会を行いました。今年度も昨年度同様に、コロナ感染予防のため、学年ごとに武道場に集まり、柔道部と剣道部の生徒たちが「形」の披露や模範試合を行いました。

生徒は、柔道の投げ技が決まったときの受け身の音と床から伝わる振動に驚いたり、剣道のかけ声や素早い技の繰り出しに息を吞んだりしながら見学しました。また、礼儀正しい振る舞いを見て、感心している生徒もいました。普段から、校訓の「文武不岐」を体現している部員の姿から、その意味を再確認する機会にもなりました。



【投げ技の形披露】



【模範試合】

総合講座 ～介護ロボットの体験／内山邸見学～

12月14日(水)の総合講座(総合的な探究の時間)では、外部講師による講座や現地見学を行いました。

「福祉」講座では、富山短期大学健康福祉学科 吉牟田裕准教授をお迎えし、「暮らしの中のAI～コミュニケーションロボットとの共存～」をテーマにお話を聴きました。また、介護ロボットに実際に触れて会話などを体験しました。生徒にとっては初めての経験で、福祉や介護への関心がいっそう高まりました。

また、「故郷探検」講座では、「豪農の館」内山邸を見学しました。職員の方が丁寧な案内と説明をしてくださり、江戸～明治時代に内山家が富山藩にどう貢献した家なのか、なぜ、文化財として今でも語り継がれているのかを学びました。生徒は、とても広い大広間や数々の美術品、特別に案内していただいた2階の隠し部屋に、特に興味をもって見学していました。

当日は、みぞれが降る天候で館内はとても寒く、外との仕切り戸が障子といった現代では想像がつかない家の造りを見て、「現代の暖房機器のありがたさを感じた。」と感想を述べる生徒もいました。



【吉牟田先生】



【介護ロボットと触れ合う生徒】



【内山邸の説明を聴く生徒】



【内山邸の展示物見学】

【12月～1月の主な行事予定】

12月23日(金) 冬季休業前全校集会

12月24日(土)～1月9日(月) 冬季休業

1月7日(土) 推薦入試

1月10日(火) 冬季休業明け全校集会

1月19日(木)～24日(火) 3年生 学年末考査

1月25日(水) 3年生 特別授業開始